

<FSC 森林認証>

FSC 森林認証 (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) は世界的な森林減少・劣化の問題と、グリーン・コンシューマリズム (環境負荷の低減に資する物品・サービスを積極的に購入したり、そうでない物品を忌避したりするなどの消費行動を通して、供給サイドを環境経営に誘導し持続可能な社会の構築を目指している消費者運動) の高まりを背景として生まれた「適切な森林管理 (Well-Managed)」を認証する制度です。FSC 森林認証では、「森林管理のための FSC の 10 原則と 70 の基準」に基づき、適切に管理された森林を認証します。認証された森林の林産物でできた製品には FSC のロゴマークがつき、消費者に対して認証された製品であることを分かりやすく伝えています。

FSC 認証制度を運営しているのはドイツのボンに本部を置く FSC です。環境団体、林業者、木材取引企業、先住民団体、地域林業組合などから構成される独立した NPO (非営利団体) で、FSC の活動に賛同し、適切な森林管理を広めることを誓った法人・個人が入会することができます。FSC で特筆すべきなのは、「森を守ること」だけにとどまらず、労働者や先住民族の権利、地域社会との関係や文化など広い範囲に基づいて森林の在り方を考えられているところです。FSC の認証は森林から消費者まで林産物やそれを含む製品を扱う全ての組織が対象となりますが、製品を市場に届けるための継続的な認証としては以下の 2 種類があり、FM 認証 (Forest Management) と CoC 認証 (Chain of Custody: 加工・流通過程) がそれにあたります。

FM 認証は「適切に管理された森」に対して付与され、CoC 認証は FM 認証を取得した森の生産物を適切に管理し、加工・流通を行っていることに対して付与されます。FSC が定める「責任ある森林管理」の条件を満たした FM 認証森から生産されたものは、FSC 認証の木材として出荷されます。しかし、木材が流通・加工を経て製品となって消費者に届くまでに、非認証取得者の手に渡った場合は管理の連鎖が途切れるため、その製品は FSC 認証製品とは認められません。つまり、森が FM 認証を受けていても FSC 製品として販売するには、小売を除く生産・加工・流通に関わる組織が CoC 認証を受けていることが必要となります。

認証された製品が市場に増え購入が進むことによって、適切に管理される森林が守られ、森林の破壊や劣化を招くことなく木材消費が進むというのが FSC のシステムです。ロゴマークのついた製品が市場に増え、購入が進むことによって適切に管理される森林が守られ、森林の破壊や劣化を招くことなく木材消費が進むことが期待されます。環境に配慮した商品やサービスを提供する為には、使用する原料・部材なども環境に配慮して選ぶ必要があります。企業や官公庁が環境に配慮して原料や部材を購入することを「グリーン調達」と呼びますが、環境負荷の少ない製品やサービスを選ぶときの目安として環境ラベルというものがあります。FSC 認証もこの環境ラベルの一つです。また、一般企業の事務所で使用するコピー用紙などに認証を受けた用紙を使うことも F S C の活動に賛同していることになるのです。